

# 人間に生まれて “つながりを生きよう” 303

地獄・餓鬼・畜生は特別な世界では無いのです。

本年も真敬寺報恩講が無事勤まりました。皆さんののおかげです、ありがとうございます。

小矢部、福野、福光、縄蔵、梅野、山本天神竹内からお参りに来ていただきました。一年の中でも最大の行事が勤まる事が出来ましたこと皆さんのご協力、ご支援を心から感謝しています。

これも真敬寺行事に務めて参りますのでよろしくお願います。



先日井波別院で行われました御坊フェスで南砺市の田中市長（大谷派の有僧籍）は「不安におびえる時代にどのような暮らしをしていくか、お寺の皆さんと考えていきたい」と仰いました、「データーでは日本国民は六〇パーセント以上不安を感じ一九九〇年以降日本の国の自殺者は他国に比べて多い、うつ病の患者さんが一三〇万人、自己肯定感が中高生では六〇から五〇パーセント以下、中高生の将来、地域社会と関わり貢献したい人が三割程度だと出ている、共に他国と比べれば低い」そうです。とても厳しい結果ではありますが、共に考え、聞ける、大事な場所にお寺があるのではないかと提言されました。

## 11月真敬寺行事予定

- 6日(日) 日曜学校 午前9時
- 6日(日) 真宗教室 午後2時
- 7日(木) 正信偈の会 午後1時30分
- 17日(木) 定例聞法会 午前午後  
法話 畠山浄さん
- 19日(土) 冬支度 雪囲い 午後1時
- 26日(土) 親鸞聖人讃仰の夕 午後7時
- 28日(月) 真宗本廟御正忌中継

# 心塞意閉

心、塞がりて  
意、閉じ

# 心徳開明

心の目が開かれ  
明るく見える

立野寿さんの法話から

## 報恩講法話 一日目の聞書

広瀬館妙敬寺住職

立野 寿さん



現代はだんだん、だんだん、我慢する力が無くなってきて、我慢できなくなってカーツとなり感情的になってキレるんですね。

地獄・餓鬼・畜生というのは、特別な世界ではないのです。そういう中に私たちは生きているのでしょうか。

そうすると大経の三毒五悪段の中にあります「心塞意閉」(こころふさがりて、こころ閉じ)と、こころが塞がりうちに閉じこもってていく状態になります。

ところがこの教えに出逢うと「心徳開明」と心が開かれて明るくなる、こころ閉ざされたところから、心開かれるような生き方を、仏さまが私たちになさしめんと働いて下さるのです。

どうしたらこのように心が開かれてくるのか？

真宗ではどうしたらこころが開かれて来るのでしょうか？

そこを「念仏」申すの一点で心が塞がれた状態からこころが開かれてくるのだといわれます。

ただし人間は、皆ちゃんと生活をしていても、必ず悩み苦しまね

ばならないことになっています。

法然上人は親鸞聖人に

「ただ念仏して、彌陀にたすけられまいらすべし」と仰いました。

「そのことをわたしは疑いなく信じて念仏申さしていただいています」と親鸞聖人は答えになっておられます。「念仏申せ」との法然上人の言葉に「ただ念仏申すばかり」と親鸞聖人は歎異抄の中で仰っております。

私たちも、念仏の教えの家に生まれました。念仏の教えの中にあるはずです。

阿弥陀仏はこの親鸞一人のために立ち上がり歩み寄って下さいました。阿弥陀の願いがこの「南無阿弥陀仏」に込められ、自らの名を申すことを通して、願いを届けようとしておられるのです。

## 報恩講法話二日目の聞書

加賀市大聖寺上宮寺住職

山本龍昇さん



法蔵菩薩は、仏道を歩み出す時、浄土建立を目指した最初に、地獄、餓鬼、畜生のない世界を願ったのでした。(無三悪趣) 三つの嫌悪すべきこと、厭うべきこと、を誓われました。

まさに娑婆は地獄・餓鬼・畜生の世です、そこを照らすので

す。

地獄の本質は、孤独なのです。

「我帰するところ無く、孤独にして、無同伴なり」と源信僧都がのこしておられるように、帰るところが無いほどの孤独なのです。そして誰も寄り添って歩む存在が無いと感じている時のことです。

餓鬼は貧困です。飢餓に苦しんでいる状態です、今日本でも6人に1人の子どもが満足に食べられていないと言われています。子ども食堂が各地で開催されています。無料でお腹いっぱい食べられるようにと開かれています。

畜生は、傍生ともいい、人の言いなりになる、主体性が無い、誰かの言うことに従って生き

る。それは差別を生み出し、今大谷派で大きな問題になっているのは、観無量寿経にインドのカースト制の最下層の旃陀羅という言葉が出ています、その旃陀羅という言葉を聞くといいたたまれなくなるという批判を受けています。「この言葉をなんとかなくして欲しい」「そこを読むことを止めて欲しい」と訴えがあつて、本山では一生懸命その問題に取り組んでいます。

それはただその部分を読まないだけで解決することでは無いのでまだ結論は出ていません。

今年、水平社宣言100年の年であり、そこには「穢多として誇れるときがきた」「人の世に熱あれ、人間に光あれ」

との宣言です。本山は宗務総長の名で文正を出しています。

世界にはいろんな差別があります、そういう差別の無い世界を目指そうとしておられる根拠ともなる願いなんです。

もう少し身近に言いますと、「ごめんない、ゴメン、ワルかった」という言葉が出てこない、忘れた世界、謝らない世界が地獄だといわれます。政治家、企業のトップは中々言いません、このように私たちも自分の非を認めないでいます、自分は正しい、自己固守、自分にとどまっている、それが地獄を作り出している。ありがとうを忘れた世界が餓鬼。不足、未足(いまだ足りず)の世界を作っている。畜生はプリーズ、どうぞが出ない、人を思いやる心です、それを忘れたときに私たちは畜生の世界を生み出します。無関係で思いやりの無いことから差別をするんです。

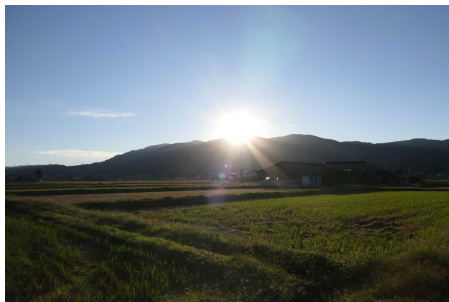
続きはHpで公開しています。

先月の行事(十月)

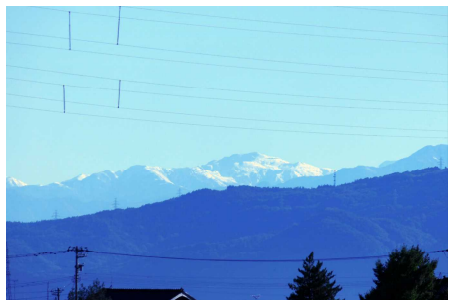
- |             |       |      |
|-------------|-------|------|
| 二日(日)       | 日曜学校  | 午前9時 |
| 九日(日)       | 真宗教室  | 午後2時 |
| 十一日(火)      | 正信偈の会 | 午後2時 |
| 十六から十七日(日月) | 報恩講   |      |
| 三十日(日)      | 日曜学校  | 午前9時 |



日の出の虹  
十月十一日朝6時21分西山に虹が架かりました。



医王山の日の入り  
十月二十一日午後四時二十七分秋の日が沈んでいきました。



白馬岳?冠雪  
今年二度目になりましたが、東の山遠くに冠雪が望めました。

発行 〒939-1664富山県南砺市竹内440



ホームページを開設しました

真宗大谷派(東) 小塚山真敬寺 宮地修

0763-52-0196 携帯電話090-3760-5692